

平成 23 年度

# 滋賀県薬物乱用防止対策の概要

滋賀県薬物乱用対策推進本部

( 滋賀県・滋賀県教育委員会・滋賀県警察本部 )

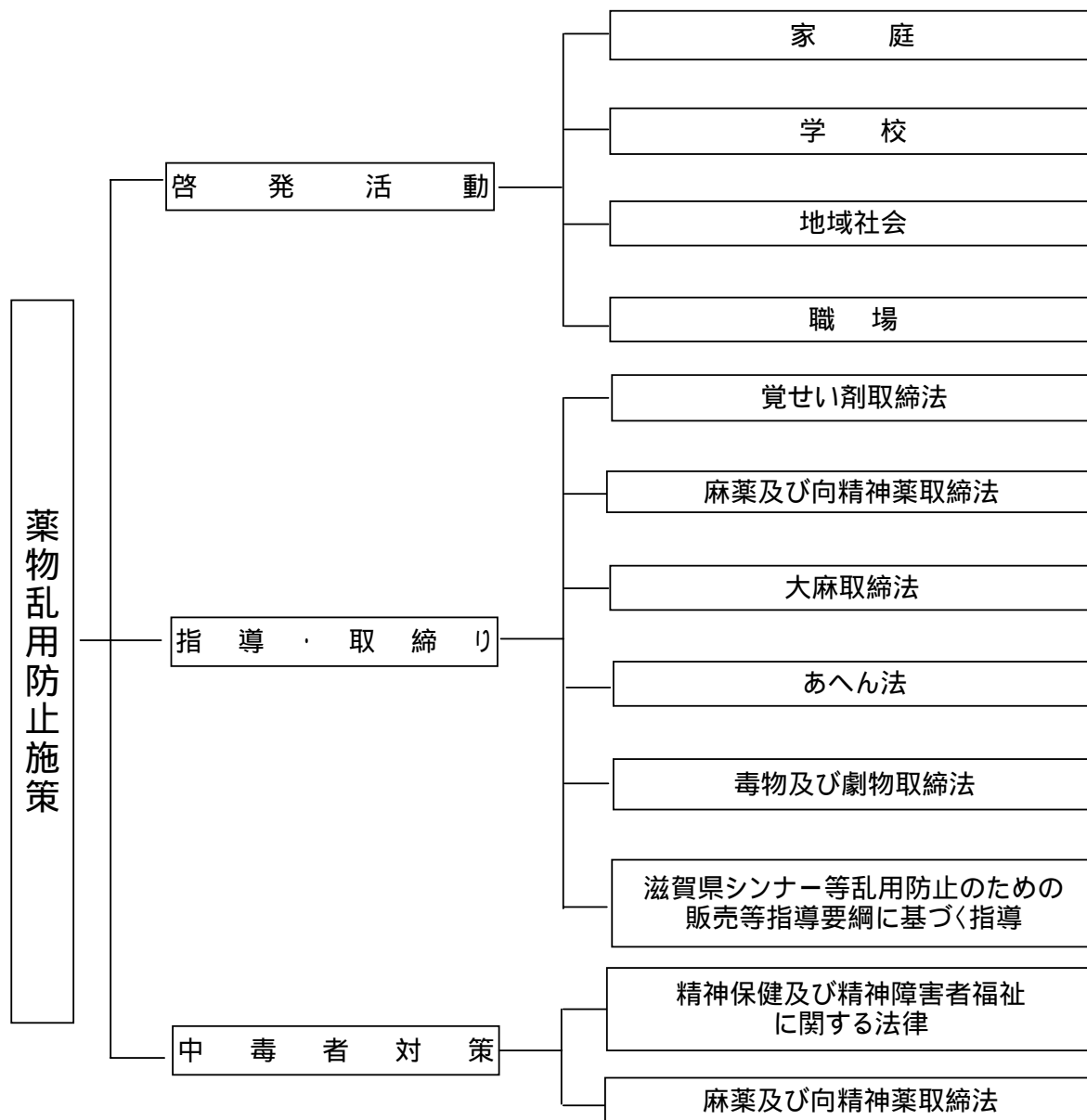
# 目 次

薬物乱用防止の施策.....	1
滋賀県における薬物乱用防止対策体系図.....	2
平成22年度滋賀県薬物乱用対策推進本部事業実施結果.....	3
平成23年度滋賀県薬物乱用対策推進本部事業計画.....	9
1 知事部局.....	9
2 教育委員会事務局.....	11
3 警察本部.....	12
4 国関係機関.....	13
資 料	
1 平成23年度覚せい剤・シンナー乱用防止強化運動実施要領.....	14
2 滋賀県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要領.....	17
3 滋賀県薬物乱用対策推進本部設置規程.....	19
4 薬物乱用防止啓発用映像資材リスト.....	23
(1) シンナー.....	23
(2) 覚せい剤.....	27
(3) コカイン.....	30
(4) 大麻(マリファナ).....	30
(5) その他薬物全般.....	31
5 薬物乱用防止関連機関	
(1) 滋賀県薬物乱用対策推進本部.....	36
(2) 健康福祉事務所(保健所)等.....	37
(3) 警察署.....	37
(4) 少年センター.....	38

# 薬物乱用防止の施策

国および県の関係機関で、昭和57年8月滋賀県薬物乱用対策推進本部を設置し、広く県民に対して、薬物乱用の恐ろしさを訴えるとともに、これを正しく理解し、覚せい剤・シンナー等の薬物乱用を撲滅し、住みよい町づくりのため、次の体系に基づき総合的な施策を展開している。

## 薬物乱用防止施策の体系



# 滋賀県における薬物乱用防止対策体系図

「滋賀県薬物乱用対策推進本部設置規程」により、昭和57年8月11日設置  
 (目的) 薬物乱用に関する総合的かつ効率的な対策を強力に推進するため設置

(所掌事務)  
 薬物乱用対策の総合的な施策の推進  
 関係行政機関が行う薬物乱用対策の実施  
 についての情報交換および連絡調整  
 その他薬物乱用対策について必要な事項

(会議)  
 本部員会議  
 幹事会議  
 連絡員会議

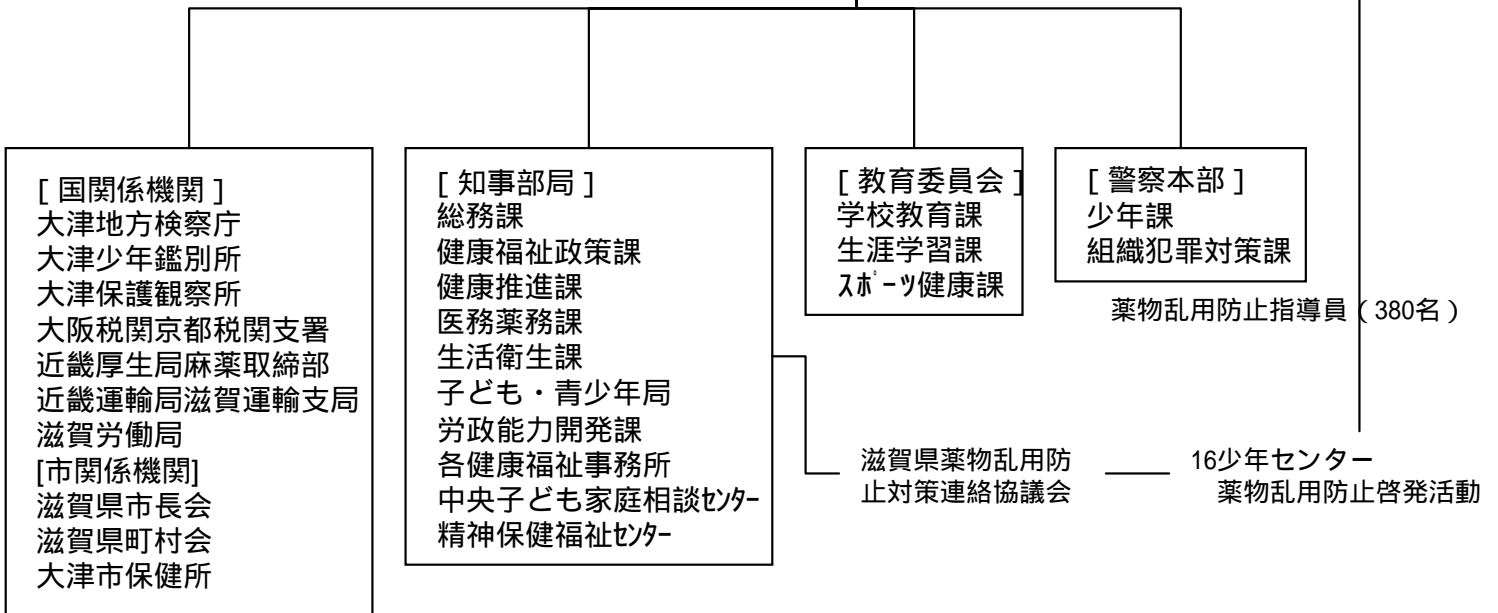
薬物乱用対策推進本部(国)  
 (本部長:内閣総理大臣)

- 内閣府
- 警察庁
- 厚生労働省
- 文部科学省
- その他各省庁

滋賀県薬物乱用対策推進本部(地方本部)  
 (本部長:健康福祉部を担任する副知事)

(調整)

県本部構成機関



## 知事部局 (医務薬務課)

県民全般に対する啓発活動  
 啓発資料の作成  
 シンナー等取扱事業所に対する立入調査 (各健康福祉事務所、警察、少年センター)  
 薬物乱用全般に関する相談 (各健康福祉事務所、精神保健福祉センター)

滋賀県「ダメ。ゼッタイ」普及運動の実施  
 薬物乱用防止教育実践モデル事業

## 教育委員会

学校教育の場での生徒および教師に対する啓発 (「教育」)

喫煙飲酒(薬物乱用)防止教育研修会

## 警察本部

取締り  
 犯罪の未然防止を目的とした特別の重点的な啓発等の活動

薬物乱用防止対策

## 平成22年度滋賀県薬物乱用対策推進本部事業実施結果

区分	実施事項および実施結果	実施機関
会議	1. 麻薬中毒者対策連絡会議 平成22年10月20日(京都府) 2. 麻薬取締協議会 平成22年6月15日(福井県) 3. 麻薬取締職員会議 平成22年6月15日(福井県) 4. 滋賀県薬物乱用対策推進本部 幹事会議 平成22年6月10日(大津合同庁舎7-C会議室) 5. シンナー等立入調査員会議 平成22年6月10日(大津合同庁舎7-C会議室) 6. 地域薬物乱用防止対策連絡会議 32回 参加者延べ748名	近畿厚生局麻薬取締部 "           "           健康福祉部医務薬務課薬務室 "           各少年センター
旬 間 月 間 および 運動等	1. 不正大麻・けし撲滅運動 平成22年5月1日～6月30日 2. 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 平成22年6月20日～7月19日 3. 「覚せい剤・シンナー乱用防止強化運動」 第1回：平成22年6月20日～7月19日 第2回：平成22年11月15日～12月14日 4. 青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間 (平成22年7月中) 県内全域において実施する青少年の非行問題に取り組む滋賀県強調月間において、喫煙、薬物乱用等を包含した街頭啓発活動および補導活動を展開した。 (各市町、関係機関) 5. 取締り強化期間 (1)薬物及び銃器取締り強化期間 平成22年5月1日～5月31日 (2)年末特別警戒 平成22年12月8日～12月17日 <b>【実施内容】</b> 不正薬物及びけん銃等銃器類の摘発ならびに防あつの一層強化を図るため、税関各部署が連携して船舶・航空機の入港から貨物の国内引取りまで一貫した取締り、検査を推進。 関係業界等との協力体制を強化し、密輸入に関する情報の提供および収集を強化。 積極的に広報活動を推進し、広く国民一般及び関係者に周知して啓発活動を強化。	健康福祉部医務薬務課薬務室 各保健所等 "           "           健康福祉部子ども・青少年局 大阪税関京都税関支署滋賀出張所
啓発活動	1. 各種広報活動の推進 (1) 新聞、広報誌等 ア 少年課速報、メールマガジンの発信 イ 交番、駐在所等発行の広報紙による情報発信 ウ 機関誌の発行等(約65万部) エ 有線放送による啓発(20回) (2) ポスター、パンフレット等 国、県、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター作成	警察本部生活安全部少年課 "           各少年センター "

啓発活動	ア ポスター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税関作成ポスター掲示</li> <li>・不正大麻・けし撲滅運動（400枚）</li> <li>・「ダメ。ゼッタイ。」（400枚）</li> <li>・覚せい剤・シンナー乱用防止強化運動（250枚）</li> <li>・啓発ポスターの掲示(平成22年7月1日～7月31日)</li> </ul>	大阪税関京都税関支署滋賀出張所 健康福祉部医務薬務課薬務室 " " 中央子ども家庭相談センター
	イパンフレット、リーフレット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・税関作成リーフレット常備・配布</li> <li>・けし、大麻の見分け方（500部）</li> <li>・薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」（3,407部）</li> <li>・「ダメ。ゼッタイ。」（42,000部）</li> <li>・MDMA・大麻・違法ドラッグは「ダメ。ゼッタイ」（50部）</li> <li>・薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」(保護者用)（100部）</li> <li>・薬物乱用防止啓発資料の作成と効果的な活用の実施</li> </ul>	大阪税関京都税関支署滋賀出張所 健康福祉部医務薬務課薬務室 " " " " 警察本部生活安全部少年課
	ウ冊子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースレター 83号～84号（738部）</li> <li>・ご家族の薬物乱用問題でお困りの方へ（150部）</li> </ul>	健康福祉部医務薬務課薬務室 "
	エ その他資材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ダメ。ゼッタイ。」マグネット（5,000個）</li> <li>・独自資材 ボールペン(1,200本) ティッシュ(12,705個)、ちらし(7,500枚)、 ポスター(400枚)、相談啓発カード(5,000枚)、 しおり(2,000個)、クリアファイル(4,000枚)、 啓発用袋(1,100袋)、キズテープ(3,000枚)、 キーホルダー(800個) 等</li> </ul>	健康福祉部医務薬務課薬務室 各少年センター
	(3) 薬物乱用防止啓発活動		
	ア 啓発用展示パネルの貸出	各保健所、関係機関・団体等が開催する大会、研修会等での展示を目的として貸し出した。（5件）	健康福祉部医務薬務課薬務室
	イ 薬物乱用防止広報車の活用	平成22年7月、滋賀県フットサル連盟と連携し、同連盟主催のフットサル大会に薬物乱用防止広報車を出動させ、少年やその保護者、観客等に啓発活動の実施	警察本部生活安全部少年課
	ウ 説明会等において、密輸動向、摘発事例等を紹介し、広く情報提供と協力を求めた。		大阪税関京都税関支署滋賀出張所
	エ 各種会合等における情報発信	学校関係者・少年警察ボランティア等との各種会合等において薬物事件の取締り状況、薬物被害状況等について情報発信を実施	警察本部生活安全部少年課
	オ 運輸業者に対する指導	バス、タクシー、トラック業者への査察指導に併せて指導を実施。（4月12日、9月22日）	近畿運輸局滋賀運輸支局
	カ 講師の派遣		
	(1) 麻薬取締官OBによる講演		近畿厚生局麻薬取締部
	(2) 少年補導委員研修会等	守山市青少年育成市民会議第1回評議員会研修会 平成22年5月29日(守山市役所東棟) 「薬物の正しい知識～薬物乱用の防止に向けて～」 薬物乱用防止啓発研修会 平成22年10月29日(北部地域文化センター) 「薬物乱用のない社会を目指して」 甲賀保護区保護司会第4回定例研修会	健康福祉部医務薬務課薬務室

啓発活動	平成22年11月9日（甲南公民館） 「薬物乱用防止について」 2010～2011年度6R、7R明日の青少年を考える会 平成22年9月10日（草津商工会議所） 「薬物乱用防止について～正しい知識と断る勇気～」	〃
	(3)薬物乱用防止教室 県立八幡工業高等学校（平成22年4月13日） 県立八幡高等学校（平成22年7月9日） 県立農業大学校（平成22年11月26日）	〃
	(4)運行管理者等基礎講習会 第1回 平成22年6月17日（150名） 第2回 平成22年7月14日（140名） 第3回 平成22年12月14日（120名） 第4回 平成23年1月19日（130名）	〃
	キ 啓発・指導の実施（通年） 児童生徒への啓発および指導 教科(保健)・HR活動等での指導 学校行事内等での啓発活動 家庭(保護者)への啓発 啓発チラシ(リーフレット)の配布 教職員研修	教育委員会スポーツ健康課
	ク 薬物乱用防止教室の開催 県内小中等高等学校の児童生徒を対象として、少年補導員等少年警察ボランティアと連携した薬物乱用防止教室の実施 外国人少年健全育成支援員による外国人6校に対し、薬物乱用防止教室を開催するとともに、同支援員が作成したポルトガル語版薬物乱用防止CDによる啓発活動の実施	警察本部生活安全部少年課
	ケ 街頭啓発の実施 51回延べ803名動員し約23,400名に啓発を行った。	各少年センター
	2. 視聴覚教材の貸出状況等 (1) ビデオテープの貸出し（延25回）	教育委員会生涯学習課
	今すぐ防げ！大麻汚染 7回 さらば、かなしみのドラッグ 3回 緊急レポート ドラッグの罠 3回 T r a p 「罠」 3回 薬物乱用社会の実相 2回 違法ドラッグにNO！ 2回 その他 5回	
	3. 大会、講習会等の開催 (1) 大会	健康福祉部医務薬務課薬務室
	滋賀県薬物乱用防止推進大会 平成22年11月25日（栗東芸術文化会館さきら158名） ・薬物乱用防止功労者 厚生労働大臣感謝状 1個人 厚生労働省医薬食品局長感謝状 2団体 県薬物乱用対策推進本部長表彰 4団体 7個人 ・講演 「最近の薬物密輸の動静について」 講師：大阪税関調査部情報管理室情報管理官 菅原 英昭 氏	

啓発活動	<p>第55回滋賀県学校保健研究大会 平成22年10月21日（栗東芸術文化会館さきら 170名） 講演：「先生の話、伝わりますか？」 講師：高梨 敬一郎 氏 （関西国際大学・神戸親和女子大学客員教授） 実践発表、シンポジウム</p> <p>第49回滋賀県学校体育研究発表大会 平成23年2月1日（県庁新館7階大会議室 230名） 講演：「新学習指導要領の完全実施に向けて」 講師：鈴木 秀人 氏（東京学芸大学教育学部准教授） 研究発表、パネルディスカッション 麻薬・覚せい剤撲滅運動地区大会（大阪府） 平成22年11月14日</p> <p>(2) キャンペーン活動等 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 ・6・26ヤング街頭キャンペーン 平成22年6月26日（土） 栗東市、近江八幡市（計95名参加、約4,500人） ・地域団体キャンペーン（97施設） ・国連支援募金活動への協力（総額210,508円）</p> <p>(3) 研修会、講演会、シンポジウム等 ア 薬物事犯対象者引受人講習会 平成22年6月25日（精神保健福祉センター 6名） 「薬物依存症の理解とその治療」 イ 再乱用防止対策講習会（京都府） 平成22年10月19日 ウ 運行管理者講習会（トラック総合会館） 平成22年度 計6回 937名 エ 薬物関連問題従事者研修会 平成23年3月7日（精神保健福祉センター） 講演：「薬物依存症の理解と治療」 「教育現場の現状から」 対象：教職員、福祉関係者 オ アディクション講座（家族教室） ・学習会 平成22年6月7日（精神保健福祉センター） 「アルコール依存症について」 グループワーク「講義の感想など」 平成22年6月25日（精神保健福祉センター） 「薬物依存症の理解と治療」 グループワーク「講義の感想など」 平成22年6月28日（精神保健福祉センター） 「ギャンブル依存症の理解と対応」 グループワーク「講義の感想など」 ・家族交流会 平成22年7月～平成23年1月（アクティ近江八幡） 講師による講義および各依存症別の交流会を実施</p> <p>カ 平成22年度薬物乱用防止教育推進事業 「薬物乱用防止教室指導者講習会」 平成22年6月22日（厚生会館別館4階大会議室 60名） 事例報告：「高等学校における薬物乱用防止教室の取組」 報告者：林 悠紀子氏</p>	<p>教育委員会スポーツ健康課</p> <p>〃</p> <p>近畿厚生局麻薬取締部</p> <p>健康福祉部医務業務課薬務室 各保健所等 少年センター</p> <p>大津保護観察所</p> <p>近畿厚生局麻薬取締部</p> <p>近畿運輸局滋賀運輸支局</p> <p>精神保健福祉センター</p> <p>〃</p> <p>教育委員会スポーツ健康課</p>
------	--	---

	<p>(滋賀県立瀬田工業高等学校養護教諭)</p> <p>講義：「学校における薬物乱用防止教育の考え方」</p> <p>講師：石川 哲也氏(国立大学法人神戸大学名誉教授)</p> <p>キ 研修会</p> <p>小学校(体育)主任研修会 (県庁新館7階大会議室230名) 平成22年5月14日</p> <p>中学校(保健体育)教科主任研修会 (厚生会館別館4階大会議室 100名) 平成22年5月13日</p> <p>高等学校(保健体育)教科主任研修会 (厚生会館別館4階大会議室 70名) 平成22年5月7日</p> <p>第20回アルコール健康教育研修会</p> <p>第19回薬物乱用防止教育研修会 (東京) 平成22年8月</p> <p>平成22年度滋賀県学校保健研修会 (厚生会館別館4階大会議室 140名) 平成22年6月17日</p> <p>講演：「学校における危機管理の対応について」</p> <p>講師：井川 一裕氏(俵法律事務所弁護士)</p> <p>ク 薬物乱用防止中堅指導者研修会(東京)</p> <p>ケ 地域住民の集いの開催 63回 7,258名</p> <p>4. 相談指導の実施</p> <p>(1) 薬物乱用対策相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各保健所 草津 7件、甲賀 10件、東近江 0件 彦根 0件、長浜 1件、高島 1件</li> <li>・精神保健福祉センター 3件</li> <li>・大津市保健所 11件 (合計 33件)</li> </ul> <p>(2) 少年センターにおける相談指導</p> <p>5. 自助グループとの連携</p> <p>第3回アディクションフォーラム(コラボしが21) 平成22年7月19日</p>	<p>//</p> <p>//</p> <p>各少年センター</p> <p>//</p> <p>健康福祉部医務薬務課薬務室 各保健所 精神保健福祉センター</p> <p>各少年センター</p> <p>精神保健福祉センター</p>
<p>取締 ・ 指導</p>	<p>1. 薬物事犯等の取締強化</p> <p>(1) 麻薬診療施設等に対する立入検査の実施 管内各府県の麻薬取締職員と協力</p> <p>(2) 取締対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>末端乱用者を摘発</li> <li>大麻所持事件を摘発</li> <li>ベトナム人による密売組織を摘発</li> <li>大阪西成に拠点を置く暴力団幹部による密売組織を摘発</li> <li>向精神薬密売事件を摘発</li> </ul> <p>(2) 中毒者対策</p> <p>麻薬・覚せい剤相談電話にて乱用者の家族等からの相談対応</p> <p>(3) 不正大麻、けし等の取締り</p>	<p>近畿厚生局麻薬取締部</p> <p>//</p> <p>//</p> <p>健康福祉部医務薬務課薬務室</p>

	<p>けし 41カ所で、3,816株を抜き取り焼却処分した。</p> <p>(4) 福祉犯罪および少年による薬物事件の取締り 少年による大麻取締法違反事件の検挙(1件1名)</p> <p>(5) 覚せい剤事犯者処遇プログラム 簡易薬物検出検査と教育課程を一体として実施。教育課程は認知行動療法の理論を基礎としたもので、保護観察開始後6ヶ月以内に全課程を修了。</p> <p>(6) 簡易薬物検出検査 覚せい剤事犯者に対し、覚せい剤を使用していないことを示す結果を積み重ねることにより、断薬の努力についての達成感を与え、対象者の断薬意志の維持及び促進を図り、その改善更生に資することを目的に実施。</p> <p>2. シンナー等取扱者に対する指導 各少年センター、各保健所、大津市保健所、各警察署 シンナー等立入調査員数 148名 立入調査数 延938施設</p> <p>3. 麻薬、大麻および覚せい剤等取扱者に対する指導 延 443件</p>	<p>警察本部生活安全部少年課</p> <p>大津保護観察所</p> <p>”</p> <p>警察本部少年課 各保健所 各少年センター</p> <p>健康福祉部医務薬務課薬務室 各保健所</p>
--	---	---



<p>啓発活動</p>	<p>(1) 大会 滋賀県薬物乱用防止推進大会（平成23年11月22日予定）</p> <p>(2) キャンペーン活動等 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 ・6・26ヤング街頭キャンペーン 平成23年6月26日（日） 大津市、甲賀市（約5,000名） ・地域団体キャンペーン ・国連支援募金活動への協力</p> <p>(3) 研修会、講演会、シンポジウム等 ア 薬物関連問題従事者研修会 平成23年7、8月頃 イ アディクション講座（家族教室） ・学習会 平成23年6月17日 講義「アルコール依存症の疾患理解と回復過程」 発表「依存症の心理について」 平成23年6月24日 講義「薬物依存症の疾患理解と治療」 発表「当事者体験談」 平成23年6月28日 講義「ギャンブル依存症の疾患理解と自覚・治療の動機付けのあり方」 発表「当事者体験談」 ・家族交流会 平成23年7月～平成24年4月 家族の当事者への対応についての学習会と家族同士の交流の機会を目的として実施</p> <p>エ 地域住民の集いの開催</p> <p>3．相談指導の実施 薬物乱用対策相談窓口 医務薬務課薬務室、各保健所、精神保健福祉センター、大津市保健所</p> <p>4．自助グループとの連携 第4回アディクションフォーラム(男女共同参画センター) 平成23年7月18日</p>	<p>健康福祉部医務薬務課薬務室</p> <p>健康福祉部医務薬務課薬務室 各保健所 少年センター</p> <p>精神保健福祉センター</p> <p>”</p> <p>各少年センター</p> <p>健康福祉部医務薬務課薬務室</p> <p>精神保健福祉センター</p>
<p>取締・指導</p>	<p>1．薬物事犯等の取締強化 ・不正大麻、けし等の取締り ・自生の「けし」「大麻」を抜き取り処分</p> <p>2．シンナー等取扱者に対する指導 少年センター、各保健所、警察署 シンナー等立入調査員数：151名 シンナー等取扱業務所数：1,133施設</p> <p>3．麻薬、大麻および覚せい剤等取扱者に対する指導</p>	<p>健康福祉部医務薬務課薬務室</p> <p>警察本部生活安全部少年課 健康福祉部医務薬務課薬務室 各少年センター</p> <p>健康福祉部医務薬務課薬務室 各保健所</p>

2. 教育委員会事務局

区分	実施事項	実施機関
大会	<p>1. 第56回滋賀県学校保健研究大会 平成23年10月13日(栗東芸術文化会館さくら 170名) 記念講演:「モンスターペアレント論を越えて～保護者と学校のいい関係づくり～」 講師:小野田 正利氏(大阪大学大学院教授) 実践発表、シンポジウム</p> <p>2. 第50回滋賀県学校体育研究発表大会 平成24年2月3日(県庁新館7階大会議室 210名)</p>	<p>スポーツ健康課</p> <p>〃</p>
啓発活動	<p>1. 薬物乱用防止啓発活動(通年) 児童生徒への啓発および指導 教科(保健)・HR活動等での指導 学校行事内等での啓発活動 家庭(保護者)への啓発 啓発チラシ(リーフレット)の配布</p> <p>2. 研修会、講演会シンポジウム等</p> <p>(1) 平成23年度薬物乱用防止教室推進事業 「薬物乱用防止教育指導者講習会」 平成23年6月21日(県庁新館7階大会議室 150名) 講義:「学校における薬物乱用防止教育の考え方」 講師:浦上 厚氏 (元関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室長 事例報告:小学校における薬物乱用防止教室の取組 報告者:寺脇 佳子氏(米原市立米原小学校養護教諭) 講演:「薬物乱用防止教室に活かせるプレゼン資料の作成」(ワークショップ) 講師:大迫 芳孝氏 (社団法人滋賀県薬剤師会常務理事) 我孫子 恵子氏 (社団法人滋賀県薬剤師会理事)</p> <p>(2) 研修会 高等学校(保健体育)教科主任研修会 平成23年4月27日(合庁7階C大会議室 70名) 中学校(保健体育)教科主任研修会 平成23年5月6日(県庁新館7階大会議室 150名) 小学校体育主任研修会 平成23年5月19日(県庁新館7階大会議室 200名) 第21回アルコール健康教育研修会 第20回薬物乱用防止教育研修会 平成23年8月(東京) 平成23年度滋賀県学校保健研修会 (養護教諭・保健主事研修会) 平成23年6月16日(県庁新館7階大会議室 140名) 講演:「夢と希望がもてるようになる、明るく楽しい健康教育」 講師:野津 有司氏 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)</p> <p>3. 視聴覚教材の貸出(生涯学習スクエア)</p>	<p>スポーツ健康課</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>生涯学習課</p>

### 3. 警察本部

区分	実施事項	実施機関
啓発活動	1. 薬物乱用防止啓発パンフレット、リーフレットの作成と効果的な活用の実施。 2. 広報啓発活動 (1) 各種媒体を利用した啓発 少年課速報、メールマガジン、交番・駐在所発行の広報紙等の各種媒体を活用した啓発活動の実施 (2) 薬物乱用防止広報車の効果的活用 3. 薬物乱用防止教室 (1) 県内学校の児童生徒を対象に、少年補導員等少年警察ボランティアと連携した薬物乱用防止教室の実施 (2) 外国人少年補導員および外国人少年健全育成支援員による、外国人学校等における薬物乱用防止教室の実施 4. 情報発信 学校関係者・少年警察ボランティア等との各種会合において情報発信を実施	生活安全部少年課  "
取締・指導	1. 福祉犯罪及び少年による薬物事件の取締り 少年に対する薬物の知情販売・譲渡事犯の取締り及び少年による薬物事件の検挙補導を強化	生活安全部少年課

4. 国関係機関

区分	実施事項	実施機関
会議等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 麻薬中毒者対策関係機関連絡会議 平成23年10月18日(大阪府)</li> <li>2. 麻薬取締協議会 平成23年6月6日(大阪府)</li> <li>3. 麻薬取締職員会議 平成23年6月7日(大阪府)</li> </ol>	<p>近畿厚生局麻薬取締部</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p style="text-align: center;">"</p>
旬間 月間 および 運動等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 薬物・銃器取締強化期間(平成23年5月1日～5月31日) 年末特別警戒(年末10日間) 不正薬物及びけん銃等銃器類の摘発並びに防あつの一層の強化を図るため、税関各部署が連携して船舶・航空機の入港から貨物の国内引取りまでの一貫した取締り、検査を推進する。 関係業界等との協力体制を強化し、密輸入に関する情報の提供及び収集を強化する。 積極的に広報活動を推進し、広く国民一般及び関係者に周知して啓発活動を強化する。</li> </ol>	<p>大阪税関京都税関支署滋賀出張所</p>
啓発 活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 薬物事犯対象者の引受人学習会 引受人に対する講習会</li> <li>2. 運行管理者講習 講習を利用した指導および啓発</li> <li>3. 運輸事業者に対する指導 バス、タクシー、トラック事業者への査察指導に併せて指導</li> <li>4. 薬物関連情報の提供 関係業界との会合又は説明会等において、密輸動向、摘発事例等を紹介し、広く情報提供と協力を求める。</li> <li>5. 広報活動の推進 事務所内等にポスターを掲示、リーフレットなどを常備し来訪者に対してアピールする。</li> <li>6. 講師派遣 麻薬取締官OB等を講師として派遣し、規制薬物に対する正しい知識の普及を実施。</li> <li>7. 麻薬・覚せい剤撲滅運動地区大会の開催 平成23年11月5日(兵庫県)</li> <li>8. 再乱用防止対策講習会の開催 平成23年10月17日(大阪府)</li> <li>9. 相談事業の実施 麻薬・覚せい剤相談電話により乱用者の家族等からの相談に応じる。</li> </ol>	<p>大津保護観察所</p> <p>近畿運輸局滋賀運輸支局</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p>大阪税関京都税関支署滋賀出張所</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p>近畿厚生局麻薬取締部</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p style="text-align: center;">"</p>
指導 ・ 取締	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 覚せい剤事犯者処遇プログラム 覚せい剤事犯者に対する専門的処遇プログラムの実施</li> <li>2. 簡易薬物検出検査 覚せい剤事犯者に対するドラッグチェック</li> <li>3. 取締対策 組織的な薬物密輸・密売事犯の摘発 末端乱用者の徹底検挙及び再乱用防止対策の推進 大麻事犯の摘発 インターネットを利用した薬物事犯の摘発 正規に流通する麻薬・向精神薬等の不正流通防止 原料物質の不正流通及び薬物密造の阻止 新規規制薬物事犯の摘発</li> <li>4. 監視指導 管内麻薬取締員と協力して、麻薬診療施設等における正規麻薬等の流通を監視する。</li> </ol>	<p>大津保護観察所</p> <p style="text-align: center;">"</p> <p>近畿厚生局麻薬取締部</p> <p style="text-align: center;">"</p>

## 平成23年度 覚せい剤・シンナー乱用防止強化運動実施要領

### 1 趣旨

覚せい剤、シンナー等の薬物乱用は、乱用者個人の心身を滅ぼすのみでなく、家庭を崩壊させ、学校、職場等に計り知れないほど大きな害悪をおよぼすものである。

近年の人的、物的な国際化の著しい進展や、価値観の多様化による社会規範の低下、さらにはストレス社会、享乐的傾向等の社会状況の変革を背景に、覚せい剤等の乱用が依然として高水準で推移しており、とりわけ注目すべきは、次代を担うべき中学生・高校生等の若者の間に、ナイフを使用した殺傷事件・学校でのいじめ問題・性をめぐる問題と同様に、薬物の乱用が増大しており、わが国も諸外国同様に薬物乱用が最も深刻な社会問題に発展することが危惧されている。

これらの現況から、覚せい剤・シンナー等薬物乱用の恐ろしさを県民一人ひとりが理解し、薬物乱用者のいない明るく健康で住みよい社会をつくるため、関係機関、団体が一致協力し、本運動を実施するものとする。

### 2 実施期間

第1回 平成23年 6月20日(月)から 7月19日(火)まで

第2回 平成23年11月15日(火)から12月14日(水)まで

### 3 主催

滋賀県薬物乱用対策推進本部(滋賀県、滋賀県教育委員会、滋賀県警察本部)  
各少年センター

### 4 協賛団体(別紙)

### 5 運動期間中の取り組み

#### (1) 滋賀県薬物乱用対策推進本部において実施する事項

##### ア 広報および啓発活動

(ア)新聞、広報誌等による啓発を行う。

(イ)自己の広報組織を十分活用するとともに、関係機関、団体に資料等の提供を行い、本運動の趣旨の徹底を図る。

(ウ)啓発用資材として、ポスター、リーフレットその他の印刷物を製作し、各少年センター、各協賛団体等にこれらを配布する。

(エ)中学校、高等学校生徒に対して、薬物乱用の有害性、危険性について啓発を実施する。

##### イ シンナー等取扱施設に対する立入調査

シンナー等乱用者からシンナー等の入手を断つため、「滋賀県シンナー等乱用防止のための販売等指導要綱」(昭和58年滋賀県告示第512号)に基づき、次の重点対象施設に対して、一斉立入り調査を実施する。

- ・大規模小売店等施設
- ・業として多量にシンナーを取り扱う店舗・事業所
- ・塗料店

・建築・工事現場

(2) 各少年センターにおいて実施する事項

ア シンナー等取扱施設に対して、一斉立入調査を実施する。

イ 主要駅、スーパー、百貨店等において、青少年を対象に街頭啓発活動を実施する。

(3) 協賛団体において実施する事項

ア リーフレット等の啓発資材を自己の会員等に配布し、啓発活動を実施する。

イ 自己の発行する機関誌に、薬物乱用防止関係の記事を掲載し、広報活動を実施する。

6 運動実施にあたっての留意事項

(1) 各関係機関、団体との協力体制の確立に努めるとともに、連携を密にし、それぞれが実施する薬物乱用防止啓発活動が効果的に推進されるよう配慮する。

(2) 本運動と同時期に「滋賀県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動」、「青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間」、「不正大麻・けし撲滅運動」等が展開されるので、相互に連携を図り運動の効果があがるよう配慮する。

(3) 本運動の実施を契機として、引き続き薬物乱用防止に関する意識が地域住民の間に定着していくよう配慮する。

(別紙)

協賛団体(50音順)

(社)滋賀県医師会  
滋賀県医薬品卸協会  
(社)滋賀県医薬品登録販売者協会  
滋賀県医薬品配置協議会  
滋賀医療機器工業会  
(社)滋賀県生活衛生協会  
(社)滋賀県栄養士会  
(社)滋賀県看護協会  
滋賀化粧品工業会  
滋賀県献血協会  
(社)滋賀県建設業協会  
(社)滋賀県建築士会  
滋賀県建築設計監理事業協同組合  
(社)滋賀経済産業協会  
滋賀県広告美術協同組合  
滋賀県更生保護事業協会  
滋賀県更生保護女性連盟  
(財)滋賀好善会  
滋賀県高等学校長協会  
滋賀県公立高等学校PTA連合会  
滋賀県国民健康保険団体連合会  
(社)滋賀県雇用開発協会  
滋賀県作業療法士会  
(社)滋賀県歯科医師会  
滋賀県歯科衛生士会  
(社)滋賀県歯科技工士会  
滋賀県自転車・軽自動車商業協同組合  
滋賀県自動車車体整備協同組合  
(社)滋賀県自動車整備振興会  
滋賀県自動車販売協会  
(社)滋賀県社会福祉協議会  
(社)滋賀県柔道整復師会  
滋賀県小学校長会  
滋賀県商工会議所連合会  
滋賀県商工会連合会  
滋賀県商店街連盟連合会  
(社)滋賀県食品衛生協会  
滋賀県私立中学高等学校連合会  
(社)滋賀県私立病院協会  
(社)滋賀県鍼灸師会

(社)滋賀県鍼灸マッサージ師会  
滋賀県青少年育成県民会議  
滋賀県青年団体連合会  
(財)滋賀県体育協会  
滋賀県タクシー協会  
滋賀県地域婦人団体連合会  
滋賀県中学校長会  
滋賀県中小企業団体中央会  
滋賀県電気工事工業組合  
滋賀県塗装工業協同組合  
(社)滋賀県トラック協会  
滋賀県塗料商業会  
滋賀県農業協同組合中央会  
(社)滋賀県バス協会  
滋賀県PTA連絡協議会  
滋賀県BBS連盟  
(社)滋賀県病院協会  
滋賀県福祉事業協会  
(社)滋賀県放射線技師会  
(社)滋賀県防犯協会  
(財)滋賀県健康づくり財団  
滋賀県保護司会連合会  
滋賀県民生委員児童委員協議会連合会  
(財)日本モーターボート競走会琵琶湖支部  
(社)滋賀県薬業協会  
(社)滋賀県薬剤師会  
滋賀県遊技業協同組合  
滋賀県ユースホステル協会  
(社)滋賀県理学療法士会  
(社)滋賀県臨床検査技師会  
滋賀県各ロータリークラブ  
滋賀県労働者福祉協議会  
(社)日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会  
日本赤十字社滋賀県支部  
(社)日本薬局協励会滋賀支部  
ライオンズクラブ国際協会 335 - C 地区  
滋賀県各ライオンズクラブ

(以上76団体)

## 平成 23 年度滋賀県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要領

### 1 名 称

滋賀県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

### 2 目 的

今日、麻薬等の薬物乱用問題は全世界的な広がりを見せ、人間の生命はもとより、あらゆる社会組織や国の安定を脅かす等、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つとなっています。

このような地球規模での薬物乱用問題は、世界の国々が一丸となって取り組むべきことであり、かつ、県民一人ひとりの認識を高める必要があります。

このため、本運動を、「新国連薬物乱用根絶宣言」の支援事業の一環として位置づけ、国連決議による「6・26 国際麻薬乱用撲滅デー」の周知とその設置趣旨を県民に普及し、薬物乱用防止に資することを目的とします。

### 3 実施期間

平成 23 年 6 月 20 日（月）から 7 月 19 日（火）までの期間とします。

（「6・26 ヤング街頭キャンペーン」は 6 月 26 日（日）とします。）

### 4 実施機関等

主 催 滋賀県、厚生労働省、（財）麻薬・覚せい剤乱用防止センター

協 賛 滋賀県教育委員会、滋賀県警察本部

後 援（50 音順）

（社）ガールスカウト日本連盟滋賀県支部

滋賀県青少年補導センター連絡協議会

滋賀医療機器工業会

滋賀県人権擁護委員連合会

滋賀化粧品工業会

滋賀県塗料商業会

（社）滋賀県医師会

滋賀県 P T A 連絡協議会

滋賀県医薬品卸協会

滋賀県 B B S 連盟

（社）滋賀県医薬品登録販売者協会

（社）滋賀県防犯協会

滋賀県医薬品配置協議会

滋賀県保護司会連合会

滋賀県学校保健会

滋賀県民生委員児童委員協議会連合会

滋賀県勤労青少年ホーム連絡協議会

（社）滋賀県薬業協会

滋賀県更生保護女性連盟

（社）滋賀県薬剤師会

滋賀県公立高等学校 P T A 連合会

（社）日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会

滋賀県子ども会連合会

日本ボーイスカウト滋賀連盟

（社）滋賀県歯科医師会

滋賀県各ロータリークラブ

（社）滋賀県自動車整備振興会

滋賀県薬物乱用防止対策連絡協議会

滋賀県社会福祉協議会

ライオンスクラブ 国際協会 335-C 地区 6R, 7R

（社）滋賀県生活衛生協会

各ライオンスクラブ

滋賀県青少年育成県民会議

滋賀県青少年団体協議会

（以上 33 団体）

## 5 実施事項

### (1) キャンペーンの実施

#### 6・26 ヤング街頭キャンペーン

##### ア) 実施日時

6月26日(日)原則として午後2時から午後4時までとします。

##### イ) 実施内容

ボランティアの協力を得て、啓発資材の配布等を行います。

##### ウ) 実施場所

大津市内

甲賀市内

#### 地域団体キャンペーン

地域団体の協力を得て、ポスターの掲示および一声運動等を行います。

### (2) 広報機関等による啓発宣伝

自己の広報機関等を活用するとともに、報道機関の協力を得て、広く本運動の趣旨の徹底を図ります。

### (3) 県民と一体となった事業展開の呼びかけ

県民と一体となった事業の展開を積極的に推進するため、市町をはじめとする関係機関・団体等に対し、本運動の趣旨の理解と協力を呼びかけます。

### (4) 教育機関への趣旨の普及・啓発

滋賀県教育委員会の協力を得て、関係機関への趣旨の普及・啓発に努めます。

## 6 事業実施方法

実施事項のうち、次の事業については実行委員会を設置し効果的に実施するものとします。

### (1) 6・26 ヤング街頭キャンペーン

### (2) 地域団体キャンペーン

## 7 その他

### 覚せい剤・シンナー乱用防止強化運動との連携

6月20日から7月19日までの間実施される「覚せい剤・シンナー乱用防止強化運動」との連携を図り効果的な実施を期するものとします。

### \* 「新国連薬物乱用根絶宣言」

国連は平成10年(1998年)6月に国連麻薬特別総会を開催し、21世紀において、国際社会が一丸となって地球規模で拡大する薬物乱用問題の解決に取り組むための指針となる政治宣言および行動計画を採決しました。このうち、「薬物乱用防止のための指導指針に関する宣言」(国連薬物乱用根絶宣言)は平成21年(2008年)を目標年として、薬物乱用を根絶することを目指していましたが、薬物乱用の根絶には至らず、

平成21年(2009年)3月の国連麻薬委員会において新政治宣言、「新国連薬物乱用根絶宣言」を採択し、平成31年(2019年)までに薬物乱用を根絶することを目指すとしました。

# 滋賀県薬物乱用対策推進本部設置規程

昭和 57 年 8 月 11 日  
滋賀県訓令第 13 号  
滋賀県教育委員会教育長訓令第 3 号  
滋賀県警察本部訓令第 12 号

滋賀県薬物乱用対策推進本部設置規程を次のように定める。

## 滋賀県薬物乱用対策推進本部設置規程

(設置)

第1条 薬物乱用に関する総合的かつ効率的な対策を強力に推進するため、滋賀県薬物乱用対策推進本部(以下「推進本部」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 推進本部の所掌事務は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 薬物乱用対策の総合的な施策の推進に関すること。
- (2) 関係行政機関が行う薬物乱用対策の実施についての情報交換および連絡調整に関すること。
- (3) その他薬物乱用対策について必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 推進本部は、次の各号に掲げる者をもって組織する。

- (1) 本部長
  - (2) 副本部長
  - (3) 本部員
  - (4) 幹事
  - (5) 連絡員
- 2 本部長は副知事を、副本部長は健康福祉部長の職にある者をもって充てるものとする。
- 3 本部員は、別表第1に掲げる職にある者をもって充てるほか、次に掲げる者のうちから本部長が委嘱する。
- (1) 国の関係機関の職員
  - (2) 関係団体の役職員
  - (3) その他本部長が適当と認める者
- 4 幹事は、別表第2に掲げる職にある者をもって充てるほか、国の関係機関の職員および本部長が適当と認める者のうちから本部長が委嘱する。
- 5 連絡員は、幹事が所属する機関の職員のうちから、幹事が指名する者をもって充てる。

(職 務)

第4条 本部長は、本部の事務を統轄する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるとき、または本部長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 本部員は、所掌事務を掌理する。
- 4 幹事は、本部員を補佐し、所掌事務を整理する。
- 5 連絡員は、幹事を補佐し、上司の命を受けて推進本部の事務に従事する。

(会 議)

第5条 推進本部の会議は、次の各号に掲げるとおりとし、それぞれ本部長が招集する。

- (1) 本部員会議
- (2) 幹事会議
- (3) 連絡員会議

- 2 本部員会議は、本部長、副本部長および本部員で組織し、第2条の所掌事務について審議決定する。
- 3 幹事会議は、幹事で組織し、第2条の所掌事務について協議する。
- 4 連絡員会議は、連絡員で組織し、第2条の所掌事務の連絡調整を行う。

(庶 務)

第6条 推進本部の庶務は、健康福祉部医務薬務課において処理する。

(そ の 他)

第7条 この規程に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。

付 則  
この訓令は、昭和57年8月11日から施行する。

付 則  
この訓令は、平成3年4月1日から施行する。

付 則  
この訓令は、平成3年7月1日から施行する。

付 則  
この訓令は、平成8年5月17日から施行する。

付 則  
この訓令は、平成9年4月1日から施行する。

付 則  
この訓令は、平成9年4月2日から施行する。

付 則  
この訓令は、平成10年3月20日から施行する。

付 則  
この訓令は、平成10年4月1日から施行する。

付 則  
この訓令は、平成11年4月1日から施行する。

付 則  
この訓令は、平成12年4月1日から施行する。

- 付 則  
この訓令は、平成 12 年 6 月 16 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 16 年 5 月 28 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 18 年 7 月 19 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 付 則  
この訓令は、平成 23 年 7 月 26 日から施行する。

別表第1(第3条関係)

総務部	総務部長
商工観光労働部	商工観光労働部長
教育委員会	教育長
警察本部	警察本部長

別表第2(第3条関係)

総務部	総務課長
健康福祉部	健康福祉政策課長 健康推進課長 医務薬務課長 生活衛生課長 子ども・青少年局副局長
商工観光労働部	労働雇用政策課長
健康福祉事務所	所長
中央子ども家庭相談センター	所長
精神保健福祉センター	所長
教育委員会事務局	学校教育課長 生涯学習課長 スポーツ健康課長
警察本部生活安全部	少年課長
警察本部刑事部	組織犯罪対策課長

## 4 薬物乱用防止啓発用映像資料のリスト

### (1)シンナー

題名	和君 返して - シンナー乱用少年をめぐる悲しみの記録 -				
内容	この物語は、実際にあったシンナー乱用少年の死亡事例を中心に映画化したもの。 シンナー、トルエン等の薬物乱用を防止する目的で、その有害性、家庭の指導のあり方などを専門家等がわかり易く解説し、薬物乱用に対する正しい認識とその恐ろしさを訴えた作品。				
時間	15分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和50年5月
	種類	名称			電話
保有機関	16mm	彦根警察署生活安全課			0749-22-3241

題名	いっしょに走ろう - シンナー常習少年をめぐる愛の記録 -				
内容	シンナー遊びをする少年が依然として後を絶たず、常習化する少年も増える一方で、その根本的な解決策は、本人はもとより周囲に対する働きかけがぜひ必要である。 この映画は、常習化した無気力な少年を立ち直らせるため教師や家族、周りの人達が少年の更生に努力した物語で、乱用少年を持つ家庭への一つの指針としたものである。				
時間	30分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和55年6月
	種類	名称			電話
保有機関	16mm 16mm	彦根警察署生活安全課 守山市視聴覚ライブラリー			0749-22-3241 077-583-1639

題名	さよならシンナー (さよならシリーズ 2巻)				
内容	シンナー・接着剤・鎮痛剤等の精神的、身体的な害及び副作用について、中高生のインタビューを含め紹介した作品。				
時間	40コマ	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和56年
	種類	名称			電話
保有機関	スライド	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	別れ道				
内容	ごく平凡な女生徒が、非行少年とつきあうようになり、シンナー、やがては覚せい剤の魔の誘いが。 しかし、従兄の必死の生きざまに心を打たれ、自分の歩んだ別れ道をもう一度返ってやり直そうと心に誓う。				
時間	40分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和60年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) 16mm 16mm	大津少年鑑別所 滋賀県警察本部生活安全課 滋賀県教育委員会生涯学習課 (社)滋賀県防犯協会			077-537-1011 077-522-1231 077-528-4656 077-525-6529

題名	シンナー - 心と体をむしばむもの -				
内容	多くの青少年の心と体を蝕み、時に彼らを死に至らしめ、傷害・殺人等、凶悪行為に駆り立てるシンナー乱用。 この映画は、その点にメスを入れ、シンナー等有機溶剤の吸引がもたらす危険性を科学的に解明し、その恐ろしさを視覚的に訴えた作品。				
時間	23分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和57年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) 16mm ビデオ(VHS) 16mm 16mm ビデオ(VHS)	大津少年鑑別所 彦根警察署生活安全課 滋賀県教育委員会生涯学習課 長浜市視聴覚ライブラリー 長浜市教育委員会 木之本町視聴覚ライブラリー			077-537-1011 0749-22-3241 077-528-4656 0749-62-1808 0749-62-4111 0749-82-5915

題名	悪魔の誘い - シンナー遊び -				
内容	恐るべき「シンナー吸引」が心身に及ぼす影響、社会への害悪をアニメーションと動物実験で表現したもので中学生向けの作品。				
時間	15分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和58年
	種類	名称			電話
保有機関	16mm 16mm 16mm	伊香郡少年指導センター 滋賀県教育委員会生涯学習課 (社)滋賀県防犯協会			0749-82-4798 077-528-4656 077-525-6529

題名	シンナーの害 (北沢杏子レポート、害シリーズ)				
内容	シンナー吸引を経験した夫婦、13歳から18歳までシンナーを吸引していた女性(国立療養所にて)、シンナー依存を克服した男性へのインタビューを通して、シンナー吸引の恐ろしさを語る。 群馬大学医学部行動分析学教室でのラットを使った実験による異常行動の分析、図やアニメによる体への悪影響や薬物依存の説明。 実例と医師のインタビューから、覚せい剤や麻薬、アルコール中毒への発展の危険性と、急性死の高い可能性を強調する。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和59年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	大津少年鑑別所 精神保健総合センター			077-537-1011 077-567-5010

題名	YES TO LIFE - 薬物依存症への対応の仕方 -				
内容	シンナー乱用の高校生を持つ母親が、精神科の医師を訪問し、それまでの子供に対する対応の誤りを教えられるというもの。 薬物に依存する人間の心理や、薬物乱用者の尻拭いをする者の問題性を指摘した作品。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和63年11月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	大津少年鑑別所 滋賀県警察本部少年課 滋賀県警察本部生活保安課 東近江少年センター 滋賀県教育委員会生涯学習課 (社)滋賀県防犯協会			077-537-1011 077-522-1231 077-522-1231 0748-24-1234 077-528-4656 077-525-6529

題名	恐るべきシンナーの害				
内容	シンナー乱用が低年齢化しているという現実を踏まえ、シンナー自体の恐ろしさや習慣性になる怖さ、脳が萎縮して廃人への道をたどること、乱用をやめても幻覚・妄想が簡単に再発することなど、シンナー乱用の恐ろしさをやさしく映像化した作品。				
時間	19分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和61年11月
	種類	名称			電話
保有機関	16mm 16mm	坂田少年センター (社)滋賀県防犯協会			0749-52-4400 077-525-6529

題名	マックからのメッセージ ～シンナー乱用の恐怖「脳が殺される」				
内容	シンナーは人体の脂質を溶かすという特徴を科学的に実証すると共に、わずかな時間内に脳に侵入し、脳萎縮など致命的な脳障害をおこす恐ろしい中毒症状の状況を提示し、シンナー吸引の怖さを教えている。				
時間	10分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	年 月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	伊香郡少年指導センター			0749-82-4798

題名	破滅へのシグナル				
内容	少年少女たちが、ちょっとした遊び感覚で手を出したシンナー。それが体と心を蝕み、やがては彼らを狙う魔の手へ。シンナーがなぜ恐ろしいのか、その実態に迫る作品。				
時間	30分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和62年11月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS) ビデオ (VHS)	滋賀県警察本部少年課 (社)滋賀県防犯協会			077-522-1231 077-525-6529

題名	ゆれうごく心 - シンナー -				
内容	ふとしたきっかけからシンナーを吸引し、常用していく少年の姿をドキュメント風の画面で構成し、シンナーの恐怖や惨めさをリアルに表現する。あわせて友情の大切さを訴える。				
時間	32分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成元年
	種類	名称			電話
保有機関	16mm	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	「ダメ。ゼッタイ。」 - シンナー団をやっつけろ! - アニメーション				
内容	アニメーションを取り入れた作品。豚をキャラクターにしたシンナー乱用の不良グループに対して、正義の美少女が現れ、一寸法師ようになって豚の体内に入り、肺、胃、脳などがシンナーに侵された状態を説明していく。ファミコンの手法を使った画面を取り入れるなどユニークなもの。特に、中学生向きとして適当と思われる。				
時間	18分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	昭和63年2月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS) ビデオ (VHS) ビデオ (VHS)	大津少年鑑別所 滋賀県教育委員会生涯学習課 (社)滋賀県防犯協会			077-537-1011 077-528-4656 077-525-6529

題名	健康に生きよう				
内容	シンナーの乱用により、中学生が車による死亡事故を起こす。これを契機に同級生がシンナーについて、正しい知識を身につけようと、グループで研究発表をすることになった。そこで、工場、大学病院、研究室を訪ねて、シンナーの恐ろしさの説明を聞き、これをまとめてロングホームルームで発表するという作品。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成元年2月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS) ビデオ (VHS) ビデオ (VHS) ビデオ (VHS) ビデオ (VHS)	大津少年鑑別所 滋賀県警察本部少年課 東近江少年センター 滋賀県教育委員会生涯学習課 滋賀県精神保健総合センター			077-537-1011 077-522-1231 0748-24-1234 077-528-4656 077-567-5010

題名	ウィル・断る勇氣 アニメーション				
内容	全編アニメーション。シンナーの乱用が人体にどのような悪影響を与えるかをアニメーションで説明したもの。特に、制作の趣旨として、シンナーの乱用を止めるには、自分たちの意志が強くなければならないということをポイントにしている。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成元年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS) ビデオ (VHS) 16mm	大津少年鑑別所 滋賀県教育委員会生涯学習課 滋賀県教育委員会生涯学習課			077-537-1011 077-528-4656 077-528-4656

題名	森の裁判 (誘惑なんかに負けないぞ!) アニメーション				
内容	シンナーを被告にして、森の動物達が裁判を行う。その中でシンナーそのものが悪いのではなく、それを乱用する人間が問題であることを証明する。 また、裁判の中で、シンナーの乱用がもたらす社会への弊害、人体及び青少年の健全な成長の妨げ等を解説している。薬物乱用に対しては断固たる拒絶の勇氣を持つことを説いている。 そして、最後にポスター等でおなじみの西村知美さんが登場する。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成3年2月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS) ビデオ (VHS)	大津少年鑑別所 滋賀県精神保健総合センター			077-537-1011 077-567-5010

題名	シンナーはなぜ恐ろしいか！				
内容	シンナーの乱用が人体にどのような障害を与えるかを、動物実験、イラスト等を交えて判りやすく説明したもの。 監修：国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究部長 福井 進				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成元年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課 (社)滋賀県防犯協会			077-528-4656 077-525-6529

題名	シンナー・インベーター (蝕まれる心と体)				
内容	中学生のシンナー乱用者を通じて、身体にどのような弊害をもたらしていくかを克明に解説している。同時に、健全な体の機能とシンナー乱用による蝕まれる身体の比較を専門家の指導をもとに作成したもの。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成3年2月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	大津少年鑑別所 日野警察署生活安全課 滋賀県教育委員会生涯学習課 虎姫町教育委員会 滋賀県精神保健総合センター			077-537-1011 0748-52-1155 077-528-4656 0749-73-2273 077-567-5010

題名	シンナーは君を滅ぼす				
内容	シンナー乱用者は低年齢化し、警察庁の調査では中学生の乱用が増加し、女子の増加も目立つ。一人の中学生を主人公に、シンナー乱用が本人の心や体をボロボロにし、家族や周囲の人までも苦しみのどん底におとしめていく様子を、実話をもとに描き出す。				
時間	24分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成元年8月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) 16mm ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	近江八幡・安土・竜王少年センター 伊香郡少年指導センター 滋賀県教育委員会生涯学習課 滋賀県教育委員会生涯学習課 木之本町視聴覚ライブラリー			0748-36-5555 0749-82-4798 077-528-4656 077-528-4656 0749-82-5915

題名	レポート91 激増 未成年者のシンナー乱用				
内容	滋賀県内のシンナー乱用少年の実態。 未成年者のシンナー乱用防止活動。 医学面から見たシンナーの害。 大津署防犯課のシンナー乱用防止活動から ・街頭補導 ・シンナー類販売店等立入調査 平成3年10月30日、31日のテレビ放送をコピーしたもの。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成3年10月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	守山市・野洲郡少年センター 甲賀市少年センター 高島市少年センター			077-583-7474 0748-62-6010 0740-22-0048

題名	薬物乱用と家族 「健康に生きようPART2」				
内容	読本「健康に生きようPART2」を映像にしたもので、シンナーを乱用する家族が、カウンセリングを受けながら、これを克服していく過程をドラマで描いている。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成2年2月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	滋賀県警察本部少年課 日野警察署生活安全課 (社)滋賀県防犯協会 滋賀県精神保健総合センター			077-522-1231 0748-52-1155 077-525-6529 077-567-5010

題名	「ダメ。ゼッタイ。」 - 恐怖のシンナー乱用 -				
内容	TV番組「アインシュタイン」のパターンを使い、シンナーの及ぼす弊害等を専門家の解説を交えて、科学的にとらえます。特に、中・高校生を対象とした作品。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成4年2月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	大津少年鑑別所 愛知郡少年指導センター 滋賀県教育委員会生涯学習課 (社)滋賀県防犯協会			077-537-1011 0749-42-2834 077-528-4656 077-525-6529

題名	「ことわる勇氣。」 (健康に生きよう。PART4)				
内容	読本(健康に生きよう。PART4)を映像にしたもので、中学生のシンナー問題に対する対応をドラマにしてある。特に中学生の友情を通じて、シンナー乱用に走った仲間を再び立ち直らせるといったこと、また、シンナーの弊害を折り込んで作成してある。				
時間	30分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成4年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	草津市立少年センター 滋賀県精神保健総合センター			077-562-6561 077-567-5010

題名	リフレイン アニメーション				
内容	中学2年生の少女が、友達の誘いによってシンナーに手を出す。 シンナーで酩酊した少女は自転車に乗ってはなられ、天上界に行く。 天上界で女神に出会い、罰として生き直しを命ぜられる。 女神は言う、 「自分の罪がわかった時、罰から解放される。」と。 少女は小学5年から中学2年という多感な時期を模索しながら行き直していく。 果たして、少女は罰から解放されるのだろうか。				
時間	23分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成5年9月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	伊香郡少年指導センター 滋賀県教育委員会生涯学習課 栗東市視聴覚ライブラリー (社)滋賀県防犯協会			0749-82-4798 077-528-4656 077-553-5700 077-525-6529

題名	シンナー乱用の悲劇 - 少年たちの証言 -				
内容	シンナー乱用の経験をもつ青少年たちへのインタビューを軸に、心身に与える影響、乱用の実態、シンナーの魔力から抜け出せなくなった少年たちの悲痛な叫びを浮き彫りにして、シンナー乱用防止を強く訴えた作品。				
時間	25分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成4年7月
	種類	名称			電話
保有機関	16mm	滋賀県警察本部少年課			077-522-1231
	16mm	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	「ダメ。ゼッタイ。」 博士のゼミナール				
内容	コンピューター・グラフィックの映像を使って、シンナー乱用による心身への弊害について、「ダメ。ゼッタイ。」博士が少年の体内に入って、シンナー・インペーダーの悪行を説明し、乱用少年を薬害から追放するように、働きかけるといった中学生向けの映像。				
時間	23分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成7年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS)	伊香郡少年指導センター			0749-82-4798
	ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	「シンナーの恐怖」 - あなたの脳が溶ける -				
内容	シンナー乱用によって引き起こされる身体への悪影響をイラスト、動物実験等を取り入れて、科学的に解明した作品。それと同時に、人間の脳は20歳まで成長するが、シンナー等薬物乱用の結果、通常の成長が阻害されることを明らかにしている。 監修：国立精神・神経センター精神保健研究所薬物依存研究室長 和田 清 千葉大学精神科教授 佐藤 甫夫				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成4年10月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS)	滋賀県警察本部少年課			077-522-1231
	ビデオ(VHS)	愛知郡少年指導センター			0749-42-2834
	ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課(2本)			077-528-4656
	ビデオ(VHS)	滋賀県精神保健総合センター			077-567-5010

題名	どうせ僕なんか ~シンナー少年の叫び~ (家庭における親の役割を考えるシリーズ)				
内容	実話をもとに構成された作品。 地域の父母の集まりなどの際に映写して、少年非行の背景にあるさまざまな問題について考えを深めてもらうようにと企画された。 (内容)中3の一郎はシンナー遊びが重なり補導される。なぜ彼はシンナー遊びを繰り返すようになってしまったのか。家庭の様子や育った過程を垣間見ながら、どこに問題があったか、また、立ち直りを助けるにはどうすればよいかを考える。 企画・監修：東京保護観察所				
時間	73コマ 15分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成10年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS)	守山市立視聴覚ライブラリー			077-583-1639

題名	「ファミリー・ネイション」 (シンナー乱用への警告)				
内容	家族とシンナー乱用少年の問題を、家庭のドラマとして作成している。中でも、少年の自立と家庭のコミュニケーション、克服するには... 専門家のアドバイス、薬物乱用の恐怖といった事柄も取り入れた作品。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成5年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS)	滋賀県警察本部少年課			077-522-1231
	ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ(VHS)	滋賀県精神保健総合センター			077-567-5010

題名	バイバイシンナー				
内容	シンナーの体におよぼす影響や作用などをマウスなどを使用して、わかりやすく、小学生の授業形式で表現したもの。 小学生中・高学年向き				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成12年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

## (2) 覚せい剤

題名	白い粉の恐怖			
内容	密売者の動き、警察官の活動、医師による覚せい剤の薬理作用の話等を折り混ぜた覚せい剤乱用防止の広報映画。			
時間	10分	カラー・白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和53年3月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	16mm	(社)滋賀県防犯協会		077-525-6529

題名	ちぎれた青春			
内容	一旦覚せい剤中毒になると、最も恐ろしいのは、覚せい剤を断ち切って、まともな社会人として生活していても、ある日突然に精神病的幻覚妄想や錯乱が、何の予告もなく再び襲い、人を殺したりすること(フラッシュバック)である。その恐ろしさを訴えた作品。			
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和59年10月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	ビデオ (VHS) ビデオ (VHS) ビデオ (VHS)	滋賀県警察本部少年課 坂田少年センター (社)滋賀県防犯協会		077-522-1231 0749-52-4400 077-525-6529

題名	破滅への軌跡			
内容	ごく普通の社会人が覚せい剤中毒になり、家庭破壊、幻覚による凶悪事件を犯すに至り、家庭と周囲の人達により更正に努力をした物語である。			
時間	30分	カラー・白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和57年3月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	16mm	滋賀県警察本部生活保安課		077-522-1231

題名	それでも...うちますか!! - 覚せい剤 その正体 -			
内容	甘い言葉と巧みな誘いに乗って、女性の間にも覚せい剤の汚染が拡大している。だが、自分を含めて次代の担い手を育む大切な母体が、薬物によってかくも悲惨なものになってよいものか。覚せい剤が身体各部に及ぼす恐ろしさを広く世の人々に訴えた作品。			
時間	28分	カラー・白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和60年4月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課		077-528-4656

題名	人間やめますか!? - 魔の覚せい剤 -			
内容	覚せい剤の乱用が低年齢層にまで蔓延している。その恐ろしさを知っていれば誘惑に負けなかったろうが、何も知らない少年たちは好奇心や些細なことから覚せい剤中毒への道を墜ちていく。そうさせないために本作品は、覚せい剤の恐ろしさをえぐり出す。			
時間	26分	カラー・白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和58年9月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	16mm 16mm	彦根警察署生活安全課 長浜市教育委員会		0749-22-3241 0749-62-4111

題名	うつなうたすな覚せい剤			
内容	覚せい剤の実態をえぐり出し、覚せい剤の恐ろしさをまず訴える。そのことにより、ちょっとした好奇心や甘さで、覚せい剤のわなに陥ることのないよう覚せい剤に対する認識を訴えた作品。			
時間	30分	カラー・白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和60年5月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	16mm	滋賀県教育委員会生涯学習課		077-528-4656

題名	覚せい剤の害 (北沢杏子レポート、害シリーズ)			
内容	覚せい剤経験者の体験談と、都立病院へ入院する少女のドキュメントを中心に、その間に医師のインタビュー、日大歯学部薬理学教室でのラットの実験を折り込み、覚せい剤の症状を解説し、覚せい剤の恐ろしさを明らかにしていく。また、暴力団がどのようにして一般市民に接近し、覚せい剤乱用者を作り上げていくかという説明も、麻薬取締官により、なされている。			
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和59年3月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	ビデオ (VHS) ビデオ (VHS)	大津少年鑑別所 精神保健総合センター		077-537-1011 077-567-5010

題名	ゆがんだ青春 よい子の神話			
内容	東京湾に妊娠3ヶ月の少女死体が浮かび、捜査のうち驚くべき事実が判明していく。ちょっとした好奇心から簡単に性体験に走り、果ては暴力団の餌食となり、覚せい剤の味を覚え、そして破局を迎えることとなる。このような社会現象にどう対処すべきか、問題提起と警鐘を与える作品。			
時間	60分	カラー・白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和60年6月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	16mm 16mm	滋賀県教育委員会生涯学習課 (社)滋賀県防犯協会		077-528-4656 077-525-6529

題名	覚せい剤 - あなたは手を出しますか -			
内容	覚せい剤の乱用について サラリーマンが飲食店の女性に誘われて常用する事例 主婦が友人に誘われて常用する事例 女子高校生が街で知り合った男性に誘われて常用する事例について、ドラマ化した作品。			
時間	40分	カラー・ 白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和61年5月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課		077-528-4656

題名	覚せい剤はなぜ恐ろしいか。 - 耐性・逆耐性について - (教育映画最優秀賞)			
内容	覚せい剤の乱用が心身に及ぼす影響を医学的に、しかもわかり易く解説したもの。覚せい剤乱用をし始めると、どうして止められなくなるかを説明し、覚せい剤性のもつ耐性、逆耐性、さらにフラッシュバックとも言われている再燃現象という覚せい剤の恐ろしさを強調した作品。 監修：国立下総療養所精神科医長 小沼杏平			
時間	19分	カラー・ 白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和63年3月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	16mm ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課 滋賀県教育委員会生涯学習課		077-528-4656 077-528-4656

題名	白い悪魔のわな			
内容	第二の覚せい剤乱用時代と言われるなかでよくあるケース。幸福な家庭の主婦がパート友達のわなにはまり、暴力団員に覚せい剤を常用させられ、家庭崩壊を起こす身近な事例を描いたもの。			
時間	30分	カラー・ 白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和61年6月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	16mm	(社)滋賀県防犯協会		077-525-6529

題名	輝いた瞳			
内容	今は家庭をもち、自分の選んだ道で立派に働いているが、かつて非行の道にはずれた青春時代……。忍び寄る覚せい剤の魔の手から、周囲の温かい人々の手によって救われ、立ち直っていく少女を、保護司の老人の目を通して描いたもの。			
時間	40分	カラー・ 白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和63年10月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	ビデオ (VHS) ビデオ (VHS) 16mm	滋賀県警察本部生活保安課 (社)滋賀県防犯協会 (社)滋賀県防犯協会		077-522-1231 077-525-6529 077-525-6529

題名	これがシャブだ - 覚せい剤 -			
内容	覚せい剤中毒による幻覚症状から無差別殺人に至るまでを描いたもので、ある日突然まともな社会人が、覚せい剤で犯罪者になりうる危険性を訴え、市民各層に覚せい剤禍に対する正しい理解を広める。			
時間	35分	カラー・ 白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和61年12月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	16mm	滋賀県教育委員会生涯学習課		077-528-4656

題名	人間らしく生きるために (覚せい剤・その魔性)			
内容	図、アニメ、写真を使用し、覚せい剤がどのように脳に影響していくのかを説明する。 異常行動開始から死亡まで(サル)、薬物依存(ラット)、逆耐性現象(猫)のそれぞれについて実験を行い、その行動の変化を分析する。(括弧内は実験に使用した動物) 異常行動、幻覚、妄想を図や絵により説明し、覚せい剤精神病者の事写を交え、覚せい剤が脳を侵し、体をむしばみ、心を歪めていくと強調する。 また、子孫への影響も、ラットでの実験や小頭症の子供の実例を通して解説している。			
時間	21分	カラー・ 白黒の別	カラー 白黒	製作年月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	ビデオ (VHS)	大津少年鑑別所		077-537-1011

題名	有難う金メダル			
内容	運送業を営む親子3人の幸福な家庭に、ある日、運転手仲間から覚せい剤が持ち込まれた。一度くらいならと打ったのが、やがて、仕事も家庭も破滅に追いやることとなる。一人娘が誕生日に手作りの金メダルを贈ってくれたが、いつしか引きちぎられて捨てられていた。この主人公の首に新しい金メダルがかけられるまでの、親子の代償が計り知れないものであることを教えてくれる。			
時間	40分	カラー・ 白黒の別	カラー 白黒	製作年月 昭和62年10月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	ビデオ (VHS) 16mm 16mm	滋賀県警察本部生活保安課 滋賀県警察本部生活保安課 (社)滋賀県防犯協会		077-522-1231 077-522-1231 077-525-6529

題名	フラッシュバックの恐怖 アニメーション			
内容	覚せい剤乱用者の再燃現象(フラッシュバック)の恐怖を分かり易く解説したもの。ドラマ形式で、医者や家族に魔法を使う少女が登場して活躍する。 また、最近の海外旅行ブームと薬物乱用問題についても取り上げている。			
時間	20分	カラー・ 白黒の別	カラー 白黒	製作年月 平成2年2月
	種 類	名 称		電 話
保有機関	ビデオ (VHS) ビデオ (VHS) ビデオ (VHS)	大津少年鑑別所 滋賀県教育委員会生涯学習課 滋賀県精神保健総合センター		077-537-1011 077-528-4656 077-567-5010

題名	ミュキの歌声				
内容	夫を事故で亡くした主婦が、パート先でだまされて覚せい剤を飲まされ、それをきっかけに家庭崩壊、人格破壊へ。小さな娘の声も心に届かなくなっていく。覚せい剤をワイン等に入れて、一般家庭へ入れようとする手口などを知り、その恐ろしさを認識するもの。				
時間	40分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成3年6月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	草津警察署生活安全課			077-562-3040
	ビデオ (VHS)	水口警察署生活安全課			0748-62-4155
	ビデオ (VHS)	八日市警察署生活安全課			0748-22-1035
	ビデオ (VHS)	彦根警察署生活安全課			0749-22-3241
	ビデオ (VHS)	(社)滋賀県防犯協会			077-525-6529

題名	「ブレイン・クラッシャー！」 (覚せい剤は君の脳を破壊する)				
内容	「ダメ。ゼッタイ。」博士ゼミナール、シリーズパート3です。今回は、最近覚せい剤の乱用が小学生まで拡大して来ますので、小学生の高学年の生徒に分かるように、アニメーションとCG(コンピューターグラフィックス)を取り入れて作成しています。				
時間	22分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成8年9月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	甲賀市少年センター			0748-62-6010

題名	「ヘルプ・ミー」 - 覚せい剤の恐ろしさを知っていますか -				
内容	弘子(17)はごく平凡なサラリーマン家庭の一人娘で、いつもダイエットを気にしている高校生。ある日、友達の恵美(18)が急にスリムになっていく秘密を何とか聞き出す弘子。覚せい剤に手を出した弘子は...。女子高校生を主人公にしたドラマ仕立てで、覚せい剤の乱用の実態を描くとともに、薬物の害・危険性などを科学的に捉えながら、暴力団の巧妙な手口や覚せい剤の乱用での身の破滅を訴える。(実際の事例に基づいて製作された。) 企画：(財)埼玉県暴力追放・薬物乱用防止センター 監修：埼玉県警察本部				
時間	31分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成8年
	種類	名称			電話
保有機関	16mm	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	大津市視聴覚ライブラリー			077-527-0025

題名	乱用薬物実験シリーズ 4巻(中学生以上向) 実験!覚せい剤				
内容	このDVDは、中学生・高校生を対象に薬物乱用の人体への害を克明に知らせる目的で制作されており、マウスやラットを使って覚せい剤投与後の常同行動や条件付け場所選好試験を見せ、乱用者が場所や環境に過剰反応を示して乱用に陥っていく過程を実証した。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成14年
	種類	名称			電話
保有機関	DVD	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

### (3)コカイン

題名	恐るべきコカイン (産業映画祭奨励賞)				
内容	今、世界中で関心の的になっているコロンビアの麻薬戦争の根源であるコカインについての現状とその薬理作用について、モーニングショーの内田忠夫キャスターが詳細に解説している。 コカインの薬理作用は日本で乱用されている覚せい剤によく似ており、日本国内への侵入が懸念されている。内田キャスターは、近年までTV朝日のアメリカ特派員をしていた経験を生かして、薬物乱用の実態等を交えて説明している。 指導：群馬大学医学部行動分析 栗原 久				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成2年2月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) 16mm	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	「コカインの恐怖」 - 人間の脳が直撃される - (産業映画祭奨励賞)				
内容	コカインの乱用による身体への影響を主眼し、専門家による解説と動物実験、ポジトロン(脳CTスキャン)等の実験を取り入れて、コカイン乱用の恐怖を認識してもらうことを製作の意図とした作品。 監修：東北大学医学部精神科教授 佐藤光源				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成4年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	乱用薬物実験シリーズ 4巻(中学生以上向) 実験!コカイン・ヘロイン				
内容	このDVDは、中学生・高校生を対象に薬物乱用の人体への害を克明に知らせる目的で制作されており、マウスにコカイン、モルヒネ、ナロキソンを投与し、それぞれの薬理作用の説明と、特に薬理作用のサイクルが短いコカインの乱用への注意を呼びかける。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成14年
	種類	名称			電話
保有機関	DVD	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

### (4)大麻(マリファナ)

題名	大麻(マリファナ)はなぜ恐ろしいか。 (健康に生きよう。PART3)				
内容	大麻(マリファナ)の人体への悪影響、乱用による弊害等について、特に専門家の先生の協力と指導を得て、ラットの実験で示し、大麻乱用のおそろしさを訴えた作品。 監修：前櫻ヶ丘保養院副院長 徳井 達司 福岡大学薬学部教授 藤原 道弘				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成3年2月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	「ダメ。ゼッタイ。」マリファナの恐怖 (ハート・イーターに気をつける)				
内容	パソコンによる少年の薬物乱用防止についての正しい知識を学習するような形式を取り入れて、CG(コンピューター・グラフィック)で、薬物乱用についての基礎知識と大麻乱用による心身への悪影響を動物実験、ハート・イーター(心つまり精神を侵す想像上の怪物)の出現など折り混ぜて、正しい知識を身につけるように、製作されている。画像は、アニメーションも取り入れてあり、中学生(小学生高学年)向けの作品。				
時間	18分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成8年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課 甲賀市少年センター			077-528-4656 0748-62-6010

題名	今すぐ防げ!大麻汚染 ~最初の1回が人生を狂わせた~				
内容	大麻事件の検挙率は10年前と比べると約2倍以上に増えている。今なぜ、大麻汚染は急速に広がっているのだろうか。大麻は最近ではインターネットで密売人と接触することなく、海外から簡単に購入することができる。本ビデオは若者たちが興味本位で大麻に手を出し、人生を棒に振らないように、どんな害があるのか、その違法性と危険性を強く訴えていく作品。				
時間	25分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成21年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

(5)その他薬物全般

題名	つづれたハーモニカ			
内容	ある女子高生の転落過程を中心に、少女売春、暴走族、覚せい剤、トルエン、万引き、ポルノ雑誌等、有害環境などを折り込み、少年には自覚と反省を、保護者には厳しいしつけと温かい指導の重要性を、地域社会には明るい環境づくりを訴えた作品。			
時間	30分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月 昭和52年7月
	種類	名称		電話
保有機関	16mm 16mm	守山市視聴覚ライブラリー 野洲市視聴覚ライブラリー		077-583-1639 077-589-3111

題名	さよなら麻薬と覚せい剤と大麻 (さよならシリーズ)			
内容	イラストを多用し、覚せい剤を中心に薬物乱用の歴史を説明し、個人に与える弊害の恐ろしさを説明。中高校生向けの作品。			
時間	40コマ	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月 昭和59年
	種類	名称		電話
保有機関	スライド	滋賀県教育委員会生涯学習課		077-528-4656

題名	薬物乱用を防ぐ			
内容	乱用される薬物を一般的にとらえ、乱用の弊害、乱用防止に関する最近の動き、(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターの役割などをまとめたもの。 また、作家の藤本義一氏をキャスターとしたもので、この種の作品としてはユニークな作品。			
時間	21分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月 昭和62年11月
	種類	名称		電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	坂田少年センター 滋賀県教育委員会生涯学習課		0749-52-4400 077-528-4656

題名	思春期の生徒指導シリーズ シンナー・覚せい剤と私たちのからだ			
内容	シンナー・覚せい剤が、成長の著しい思春期の肉体と精神にどのような悪影響を与えるかを具体的、科学的に解説。軽い気持ちや好奇心から手を出したシンナーが、将来にどんな影響を与えるかを認識させる作品。			
時間	22分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月 昭和63年
	種類	名称		電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ( )	坂田少年センター 彦根市立図書館		0749-52-4400 0749-22-0649

題名	たった一度の好奇心 それがすべてを終わらせる - 普通の人に広がり始めた薬物汚染 -			
内容	海外旅行などによって持ち込まれる薬物(大麻等)は、年々増加している。一般市民の体験談や麻薬取締りの訓練、国立療養所での再起への取り組みを紹介し、薬物乱用防止を訴えた作品。 (県ライブラリー・データバンクより)			
時間	19分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月 年 月
	種類	名称		電話
保有機関	ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS) ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課 栗東市立視聴覚ライブラリー 野洲市視聴覚ライブラリー 甲賀市教育委員会 日野町視聴覚ライブラリー 東近江市教育委員会 高島市公民館		077-528-4656 077-553-5700 077-589-3111 0748-82-1121 0748-52-1211 0749-45-3711 0740-36-0219

題名	シンナー・覚せい剤・麻薬			
内容	若者がシンナーや覚せい剤に走った動機・症状などを生の声で紹介している。 シンナー・覚せい剤・麻薬のもつ作用、影響などについては、写真・図・シンナー経験者が描いた幻覚の絵などを使ってわかりやすく科学的に解説したもの。			
時間	30分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月 平成元年2月
	種類	名称		電話
保有機関	ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課		077-528-4656

題名	なぜ 非行に染まる子供たち			
内容	普通の家庭に育った子供が、ごく軽い動機で万引き、シンナー、覚せい剤等の非行に染まっていく。 そして、どんどん深みにはまりこんでいく。 このような現状の中で、親子関係のあり方、大人の姿勢を問う作品。			
時間	29分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月 平成3年2月
	種類	名称		電話
保有機関	ビデオ(VHS)	守山市立視聴覚ライブラリー		077-583-1639

題名	「ドラッグ・レポート」 (麻薬汚染の現状報告)			
内容	アメリカの現状報告。特にDEAの活躍、コカインペビー、刑務所での女性受刑者のインタビュー、未成年治療施設でのインタビュー、アメリカの薬物乱用防止民間団体PRIDEの大会の様々、動物実験、税関の活動状況をレポートしている。			
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月 平成4年9月
	種類	名称		電話
保有機関	ビデオ(VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課		077-528-4656

題名	「ドラッグワールドレポートPART2」 (ゴールドトライアングルに行く)				
内容	昨年のドラッグレポートの第2弾、米国の民間予防啓発団体PRIDEの高校生による小中学校での啓発活動の実践、世界の薬物乱用の現況地図、またタイからのリハビリ等治療施設の実態、黄金の三角地帯からの報告等。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー白黒	製作年月	平成5年9月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	「恐ろしいシンナー・覚せい剤」 (その依存症と精神障害)				
内容	シンナー・覚せい剤の乱用による心身への弊害について、専門医師の解説と乱用者による体験談等、薬物乱用の恐ろしさや薬物乱用問題が私たちの身近で大変深刻な社会問題であることと、薬物乱用に対する正しい知識を学ぶことの大切さに重点を置いた作品。				
時間	21分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成6年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	甲賀市少年センター			0748-62-6010
	ビデオ (VHS)	滋賀県精神保健総合センター			077-567-5010

題名	「ドラッグワールドレポートPART3」				
内容	ドラッグキャンペーンの実施状況と国連ヤング大使のウィーンUNDCP(国連薬物統制計画)訪問の記録。「ダメ。ゼッタイ。」キャンペーンJリーグ等。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成6年9月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	ドラッグワールドレポートPART4 (「ダメ。ゼッタイ。」は世界の合言葉)				
内容	わが国や世界における薬物乱用の現状と薬物等の押収量、国連における薬物乱用防止の機構やその対策、また、わが国における薬物乱用防止啓発活動について、その具体的活動の報告を取り入れて、啓発活動のポイントをマニュアル化した作品。 さらに、「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金による活動レポート、横綱「貴乃花」の国連麻薬撲滅親善大使就任、「平和と麻薬撲滅祈願の鐘」設置式典の様子が記録されている。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成8年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	健康に生きる NO! 薬物乱用				
内容	今、麻薬・覚せい剤などの薬物の乱用は中学生・高校生の身边にまで迫ってきています。こうした環境の中で生徒は、薬物についての正しい知識を身につけ、いかなる誘惑にも負けずに、NO!と言える自分を作ることが大切です。 ここでは覚せい剤と大麻を例に、その薬理作用を動物実験で、また、人体への影響をアニメーション・イラストで説明し、薬物依存や覚せい剤精神病、大麻精神病など、恐ろしい薬物乱用の害をわかりやすく描いています。更に、薬物乱用の誘惑を拒否する訓練としてのロールプレイングの様子も紹介して、健康に生きるために生徒たちが薬物に対してNOと言える態度を育てるようにします。 高校生(中学生)向けです。				
時間	22分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成9年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」				
内容	薬物乱用問題に対する質問に、答えと解説をするQ&A方式のビデオです。 例えば、薬物乱用とは？大麻は本当に害があるんですか？他人に迷惑をかけなければ薬物乱用は乱用者の問題ではないですか？一回だけなら大丈夫ではないですか？などの質問にわかりやすい回答と説明をしています。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成9年9月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	甲賀市少年センター			0748-62-6010

題名	「破滅」 ～薬物乱用の衝撃～(全2巻)				
内容	第1巻〔保健編〕人体を蝕む恐怖の実態 たった一度使っただけでも絶対に止められなくなる薬物乱用。 薬物が人体にどのような影響を与え、破壊していくのかを科学的に検証し、その危険性を訴えていく。 薬物乱用によって破壊された人体 乱用される様々な薬物とその歴史 人体影響のメカニズム 依存症と乱用の関係 コカインペビー  第2巻〔特別活動編〕薬物乱用と狙われる若者達 安易な好奇心から違法薬物に手を染める若者達。しかし、その裏には暴力団が暗躍し、薬物乱用による凶悪犯罪も多発している。 薬物乱用が自分のみならず、家庭や社会までも破壊させることを訴えていく。 なぜ、若者たちの間に急速に薬物乱用が広がっているのか？ 薬物乱用による凶悪犯罪 暴力団の資金源となっている「薬物」 ある体験者の証言				
時間	各20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成10年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	守山市立視聴覚ライブラリー			077-583-1639

題名	なくした自由 ～一度の好奇心からはじまる一生の闘い～				
内容	このビデオは、登場人物を含めてすべて真実である。 「今日一日ハウス」ここでは薬物依存からの回復を目指して、若者達が共同生活をしている。 薬物への欲求を抑え続ける苦しみ・幻覚や妄想への怖れや不安など、薬物依存から抜け出すことがいかに困難であるかを訴え、たった一度の好奇心からはじめた薬物が人としての自由を奪い、一生の闘いとなることを認識することにより、薬物を絶対に乱用しないという強い態度を育てることを狙いとした作品。(高校生用)				
時間	22分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成10年6月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	草津市立少年センター			077-562-6561
	ビデオ (VHS)	野洲市視聴覚ライブラリー			077-589-3111
	ビデオ (VHS)	木之本町視聴覚ライブラリー			0749-82-5915

題名	「ねらわれる子どもたち」 ～ナイフと薬物の恐怖～				
内容	今や子どもたちの合言葉のようになってしまった「ムカつく」「キれる」。子どもたちの心はそんなにも荒れているのでしょうか。 このビデオでは、少々内気だが好奇心旺盛な少年「ダイ」とそんなダイの言動を冷静に受けとめる、頼れる先輩「ゲン」の目を通して子どもたちによるナイフ犯罪や薬物乱用の問題を描くことにより子どもたち同士、あるいは大人も交えてこれらの問題を話し合うきっかけになれば、との意図から製作されたビデオです。 自分の身を守るのはナイフなんかじゃない。 薬物依存症は一生、自分とのたたかいなんだ。 (小学校高学年・中学生対象)				
時間		カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成10年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	「ダメ。ゼッタイ君」の薬物乱用防止 『「ダメ。ゼッタイ。」スクール』				
内容	コンピューター・グラフィックスの手法を取り入れた映像で製作。 薬物乱用問題について、小学生から中学生を対象に「ダメ。ゼッタイ。」博士が薬物教室で正しい知識の普及を行う。 乱用される薬物、心身への悪影響、動物実験による薬物乱用の恐ろしさ、薬物乱用防止活動への第一歩など薬物乱用に関する問題について、小学生の高学年から全般的な知識の習得が出来るように製作されています。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成10年8月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	草津市立少年センター			077-562-6561

題名	「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用をノックアウト！				
内容	小学生の高学年と中学生を対象にして家族で学ぶ薬物乱用防止の基礎知識。 家庭で談笑をしながら、基礎知識を習得できるように、テレビの画面からクスリ・インターネットといった、現在の情報化の中で、薬物乱用防止について正しい知識を身につけられる家庭教室。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成11年3月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	草津市立少年センター			077-562-6561

題名	薬物に奪われた青春				
内容	孤独や寂しさから薬物依存に陥った若者の証言を通して、薬物乱用の恐怖と温かい人間関係の重要性を訴える。 事例1 さまざまな薬物を経験して 事例2 シンナー乱用の恐怖 赤城高原ホスピタル院長の解説 事例3 親子の絆と薬物依存 赤城高原ホスピタル院長の解説 回復に向けて				
時間	22分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成12年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	『走れ！「ダメ。ゼッタイ。」号』				
内容	CG(コンピューター・グラフィック)の映像を通じて、「ダメ。ゼッタイ。」ラリーをメインステージとし、そこに参加したファミリー4人が「ダメ。ゼッタイ。」博士と「ダメ。ゼッタイ。君」のナビゲーションで薬物乱用はなぜいけないのか。なぜ、薬物乱用に走るのか。なぜ、薬物乱用はなくなるのかについてのいろいろな知識を深めていき、最後に、キャラバンカー「ダメ。ゼッタイ。号」に辿り着く、という内容。対象は、小学生の高学年および中学生、家族と一緒に鑑賞できます。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成11年9月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	入院制治療施設 - ドラッグ・アディクション・リハビリテーション・センター「ダルクの日々」				
内容	麻薬・覚せい剤・シンナー・その他市販薬の乱用によって心身に障害をきたした若者たちの回復の場、入寮制薬物依存治療施設「ダルク」を入寮生活や体験談をとおして紹介したものです。				
時間	25分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	精神保健総合センター			077-567-5010

題名	事例に学ぶ こんなとき、あなたならどうしますか？				
内容	このビデオは、薬物使用を誘われたとき、いかに断わるかを4つの事例を通じて学ぶ、ケース・スタディー方式で構成されています。 青少年が薬物に接触する実際的な場面を想定し、ビデオを通じて自ら考え、ともに話し合い機会を提供することを想定して作成されたもの。				
時間	20分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成12年8月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	薬物乱用社会の実相				
内容	現代の成熟社会では、人々の価値観の多様化や思考、ライフスタイルの変化などによって薬物とその乱用者をめぐる状況が大きく変わってきています。 このビデオはそのような文明論的な斬新な視点にたって現代ドラッグ社会における薬物乱用の対策について小・中・高校生を中心に学校、家庭の三者がともに考え、解決しようとして製作されたもの。				
時間	27分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成12年8月
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	薬物乱用・その正体				
内容	薬物乱用の恐ろしさについて、乱用する薬物に分けて正確な情報として伝えていく構成となっています。 取り上げられている主な薬物は、覚せい剤、シンナー、大麻の3つですが、その他の薬物やドラッグについても触れています。また、当事者のインタビューなどを交えながら解説してあります。 また、薬物に対する誤解しやすい質問を提示し、視聴者自身が薬物についての認識を確認していくスタイルで展開しています。中・高校生の授業にも適しています。				
時間	18分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成14年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	薬物乱用・親として				
内容	薬物乱用により犯罪まで犯してしまう中学生を育んだ家庭の在り方を問うと共に、当人が肉体的・精神的に転落していく様子を描き、薬物の恐ろしさと遵法の精神を訴えています。 取り上げられている主な薬物は、覚せい剤、シンナーの2つです。				
時間	26分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成15年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	原田幸男先生の薬物乱用防止指導教室展開法				
内容	教師、薬物乱用防止教育関係者を対象として、長年、薬物乱用防止教育に取り組んできた製作者のノウハウの一つを紹介しています。 中・高校生の授業でもお使いください。				
時間	40分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成15年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	さらば、かなしみのドラッグ				
内容	薬物依存症の治療のあたる医師（精神科医 比江島 誠人）が、薬物の害を詳しく説明し、青少年の薬物乱用問題に取り組む教師（水谷 修）が、若者の間にはびこる薬物の実情を詳しく説明する。				
時間	22分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成16年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656
	ビデオ (VHS)	精神保健総合センター			077-567-5010

題名	事例に学ぶ こんなとき、あなたならどうしますか？				
内容	薬物使用を誘われたときに、いかに断るかを4つの事例を通じて学ぶ、ケース・スタディ方式で構成しています。小・中・高校生の授業でもお使いください。				
時間	26分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成15年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	夜回り先生 水谷修のメッセージ				
内容	水谷修氏(元定時制高校教諭)は13年間、薬物汚染から若者達を救うパトロール活動と、年間300本以上の講演を行いながら、薬物の恐ろしさを訴え続けている。いつしか「夜回り先生」と呼ばれるようになったこの男の生き様をジャーナリスト江川紹子の取材を織り交ぜながら追う。				
時間	90分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成17年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	緊急レポート！ドラッグの罠 蔓延するMDMA				
内容	中学生に薬物の正しい知識や恐ろしさを訴えることはもちろんのこと、こころの問題と薬物乱用の関係に言及することで、より多くの生徒の心に響くように構成しています。				
時間	21分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成17年
	種類	名称			電話
保有機関	ビデオ (VHS)	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	薬物依存 - 孤独そして絶望からの脱出 -				
----	-----------------------	--	--	--	--

題名	違法ドラッグにNO！未来はキミが思うほど悪くない				
内容	違法ドラッグは、大人の目の届かない子どもたちのインターネットや携帯サイトという世界に広がっています。こうした誘惑から子どもたちを守るためには、ドラッグの危険性を子どもたちに伝えていくことが重要です。 本作品は、実際に中高生が巻き込まれた3つの事案をドラマ化したものです。				
時間	31分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成19年
	種類	名称			電話
保有機関	DVD	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	Trap「罠」				
内容	一度だけならいいだろうという軽い気持ちで覚せい剤に手を出すOL、遊び感覚でMDMA（合成麻薬の一種）を飲む大学生、気分を高めるため大麻を吸う会社員、そうした彼らの末路はどうなるのでしょうか。このビデオは、身近に潜む薬物の「罠」にかかる若者たちの姿を描きだすことで、薬物の「罠」に近づかないよう警告しています。				
時間	25分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成21年
	種類	名称			電話
保有機関	DVD	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	NO！ドラッグ 人生の別れ道				
内容	身近に迫る薬物乱用の誘惑はいつか遭遇するかもしれない人生の別れ道。そんなとき、あなたならどうしますか？選択を誤って「破滅への道」を歩まないよう、また大切な人を泣かせないよう、東京都がこのDVDを制作しました。大麻、覚せい剤、MDMA、そしてLSD、乱用される薬物の基礎知識から、誘われたときの断り方までを、わかりやすく映像化しています。				
時間	30分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成22年
	種類	名称			電話
保有機関	DVD	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

内容	薬物依存症患者のための、日本初の民間リハビリ施設「ダルク」の取材を通し、薬物依存症とは何か？薬物中毒とは何か？など、薬物乱用の恐ろしさをドキュメントで描き、青少年に薬物乱用防止を強く訴えます。				
時間	30分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成13年
	種類	名称			電話
保有機関	DVD	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

題名	知っていますか 薬物(ドラッグ)の真実 体験者は警告する				
内容	昨今、有名大学での大麻汚染や芸能人の薬物乱用が相次いでいます。各学校で薬物乱用防止教育が行われているにもかかわらず、なぜ手を出してしまうのでしょうか。薬物体験者自身の強い説得力を持つ言葉で「薬物の真実」、つまり「薬物乱用の本当の怖さ」を伝えます。「周りに迷惑さえかけなければ個人の自由」「薬物は意志が強ければやめられる」...そんな不確かな情報や好奇心で薬物に手を出すことが果たしてどんな結果を招くのか、その真実を明らかにします。「一度だけなら大丈夫」の「一度」を抑止する事が目的の作品です。				
時間	21分	カラー・白黒の別	カラー	製作年月	平成22年
	種類	名称			電話
保有機関	DVD	滋賀県教育委員会生涯学習課			077-528-4656

## 5 薬物乱用防止関連機関

### (1) 滋賀県薬物乱用対策推進本部

名称	所在地	電話番号	FAX番号
大津地方検察庁(仮庁舎)	〒520-8512 大津市御陵町3-6	077-527-5120	077-528-2126
大津少年鑑別所	〒520-0867 大津市大平一丁目1-2	077-537-1011	077-531-2035
大津保護観察所	〒520-0057 大津市御幸町6-5	077-524-6683	077-528-2205
大阪税関京都税関支署	〒606-8395 京都市左京区丸太町川端東入る東丸太町34-12	075-761-1296	075-761-1306
大阪税関京都税関支署 滋賀出張所	〒525-0032 草津市大路2-11-15 草津合同ビル2F	077-564-3410	077-564-3412
近畿厚生局麻薬取締部	〒541-8556 大阪市中央区大手前四丁目1-76大阪合同庁舎	06-6949-6336	06-6949-6338
近畿運輸局滋賀運輸支局	〒524-0104 守山市木浜町2298番5	077-585-7252	077-584-2079
滋賀労働局	〒520-0057 大津市御幸町6の6	077-522-6648	077-522-6442
滋賀県市長会	〒520-0044 滋賀県大津市京町4丁目3-28 厚生会館3階	077-522-2711	077-523-2354
滋賀県町村会	〒520-0044 滋賀県大津市京町4-3-38滋賀合同ビル2F	077-526-2222	
滋賀県	〒520-8577 大津市京町四丁目1-1	077-528-3634	077-528-4859
滋賀県教育委員会	〒520-8577 大津市京町四丁目1-1	077-524-1121	
滋賀県警察本部	〒520-8501 大津市打出浜1-10	077-522-1231	
滋賀県中央子ども家庭相談 センター	〒525-0072 草津市笠山七丁目4-45	077-562-1121	077-565-7235
滋賀県精神保健福祉センター	〒525-0072 草津市笠山八丁目4-25	077-567-5010	077-566-5370

## (2) 健康福祉事務所（保健所）

名称	所在地	電話番号	FAX番号
南部健康福祉事務所 （草津保健所）	〒525-8525 草津市草津三丁目14-75	077-562-3527	077-562-3533
甲賀健康福祉部事務所 （甲賀保健所）	〒528-8511 甲賀市水口町水口6200	0748-63-6111	0748-63-6142
東近江健康福祉事務所 （東近江保健所）	〒527-0023 東近江市八日市緑町8-22	0748-22-1253	0748-22-1617
湖東健康福祉事務所 （彦根保健所）	〒522-0039 彦根市和田町41	0749-21-0281	0749-26-7540
湖北健康福祉事務所 （長浜保健所）	〒526-0033 長浜市平方町1152-2	0749-65-6660	0749-63-2989
高島健康福祉事務所 （高島保健所）	〒520-1621 高島市今津町今津448-45	0740-22-2525	0740-22-5693
大津市保健所	〒520-0801 大津市におの浜四丁目4-5	077-522-6755	077-525-6161

## (3) 警察署

名称	所在地	電話番号
大津警察署	〒520-0806 大津市打出浜12-7	077-522-1234
草津警察署	〒525-0032 草津市大路二丁目11-16	077-563-0110
守山警察署	〒524-0045 守山市金森町494	077-583-0110
甲賀警察署	〒528-0037 甲賀市水口町本綾野2-11	0748-62-4155
近江八幡警察署	〒523-0892 近江八幡市出町370	0748-32-0110
東近江警察署	〒527-0023 東近江市八日市緑町26-18	0748-24-0110
彦根警察署	〒522-0007 彦根市古沢町660-3	0749-27-0110
米原警察署	〒521-0012 米原市米原177-1	0749-52-0110
長浜警察署	〒526-0021 長浜市八幡中山町字鳥ノ前300	0749-62-0110
木之本警察署	〒529-0425 長浜市木之本町大字木之本1536	0749-82-3021
高島警察署	〒520-1622 高島市今津町中沼二丁目4	0740-22-0110
大津北警察署	〒520-0232 大津市真野二丁目20-23	077-573-1234

## (4)少年センター

名 称	所 在 地	電話番号	FAX番号
大津少年センター	〒520-0814 大津市本丸町6-50 大津市生涯学習センター4階	077-524-2865	077-524-2979
大津市堅田少年センター	〒520-0243 大津市堅田二丁目1-11 大津市北部地域文化センター2階	077-573-9548	077-574-0148
彦根市少年センター	〒522-0001 彦根市尾末町1-38 彦根市民会館内	0749-24-9140	0749-24-9140
長浜市長浜青少年センター	〒526-0031 長浜市八幡東町632 長浜市役所東別館2階	0749-65-2010	0749-65-3218
近江八幡・竜王 少年センター	〒523-0891 近江八幡市鷹飼町52	0748-37-2637	0748-37-2600
東近江少年センター	〒529-1421 東近江市五個荘竜田2-3 東近江市五個荘支所3F	0748-48-6835	0748-48-6836
草津市立少年センター	〒525-0032 草津市大路二丁目11-51 草津市合同ビル内	077-562-6561	077-567-0557
栗東市少年センター	〒520-3015 栗東市安養寺三丁目1-1 栗東学習支援センター内	077-551-0141	077-552-5544
守山野洲少年センター	〒524-0021 守山市吉身三丁目11-43 守山商工会館3F	077-583-7474	077-581-1419
甲賀市少年センター	〒528-0023 甲賀市水口町本丸1-10 水口町中央公民館別館2階	0748-62-6010	0748-63-3977
湖南市少年センター	〒520-3195 湖南市石部中央1-1-1 湖南市西庁舎別棟2F	0748-77-7053	0748-77-7059
日野町少年センター	〒529-1602 蒲生郡日野町河原1-1 日野町勤労福祉会館内	0748-53-1325	0748-53-1325
犬上少年センター	〒522-0262 犬上郡甲良町横関927	0749-38-4665	0749-38-4665
米原市少年センター	〒521-0031 米原市一色444 人権総合センター 1F	0749-54-5001	0749-54-5001
長浜市木之本 青少年センター	〒529-0429 長浜市木之本町木之本1757-2 長浜市役所木之本支所3F	0749-82-4798	0749-82-4798
高島市少年センター	〒520-1217 高島市安曇川町田中455番地	0740-32-3824	0740-32-3824